

## 修正版

### 「ブラックバイト」から学生生活を守るための対策を求める意見書

社会経済情勢や保護者の経済力を背景に、アルバイトをしながらも懸命に学生生活を送っている学生が数多くいる中で、「テスト期間も職場のシフトに入れられる」「正社員並みの過度な責任やノルマを課せられる」「自分で後任を探さないと辞めさせてもらえない」などの声が聞かれている。

メディアでも「急増！『ブラックバイト』」（「毎日」）「違法行為が横行し、学業に影響するほどの長時間労働を強いられるケースも」（「読売」）などと取り上げられ、社会問題になっている。これらは、学生生活と大学教育にとって大きな支障であるだけでなく、日本社会全体にかかわる問題である。将来ある若者が、「ブラックバイト」で学業や生活を脅かされている現状を放置することはできない。

よって流山市議会は、政府に対して「ブラックバイト」から学生生活を守るため、以下の対策をおこなうよう求めるものである。

#### 記

- 1、労働関係法令にもとづき、シフトの一方的な変更や押しつけ、サービス残業を是正すること。
- 2、相談窓口の開設や情報共有など、大学や労働基準監督署、厚生労働省等の取り組みや連携の強化を図ること。
- ~~3、学費の負担軽減を図るための施策を強化すること。~~

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

内閣総理大臣  
厚生労働大臣  
文部科学大臣  
経済産業大臣  
総務大臣  
財務大臣

2014年10月  
千葉県流山市議会